

別紙2
目標達成計画

事業所名 グループホームはな
作成日: 平成23年 4月12日

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の資向上を目指して優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	車イスの方が多くなり、防災訓練は年2回実施しているが、今般の東北大震災での災害に対する意識や認識を深めていく。	合同の訓練を自衛消防の方と併設施設職員の協力を得ながら、日頃より防災型の拠点としての役割を担っていきたい。	職員や自衛消防隊の方に認知症ケアや介助の方法や資料の配布を行いながら、災害・地震の想定される訓練や対策を考える。	9か月
2	48	一人一人の役割や楽しみごとや生活力が見えてこない中、生活活動が不活発症状となっているのが現状です。	楽しみの中に昔のおやつ作りや、住んだ近隣へ出かけ、散策や買い物で記憶の呼び戻しや生活の活性化につなげたい。	月に数回入居者の協力を得ながら、おやつ作りを行い、週間活動で近隣の散策や買物等を行い、見当意識を確認する。	6か月
3	51	手紙・葉書や通信での意識・意欲が見られず、実行機能の低下から、失書や会話での脈絡な部分が増えてきました。	会話の中で出てくる友人や疎遠の兄弟・知人との通信による交流を図り、社会との接点や待つ喜びを感じてもらいたい。	家族に会話に出てくる方の住所や電話・対応可能か相談し、手紙に添えた習字・絵手紙を送り、通信の中で時間の共有を図る。	6か月
4					か月
5					か月